

社是

敬天愛人

“敬天愛人”

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
 天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
 人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
 共に生きる（LIVING TOGETHER）ことをすべての
 企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。

心をベースに経営する

京セラは、資金も信用も実績もない小さな町工場から出発しました。頼れるものは、なけなしの技術と信じあえる仲間だけでした。会社の発展のために一人ひとりが精一杯努力する、経営者も命をかけてみんなの信頼にこたえる、働く仲間のそのような心信じ、私利私欲のためではない、社員みんなが本当にこの会社で働いてよかったと思う、すばらしい会社でありたいと考えてやってきたのが京セラの経営です。

人の心はうつろいやすく変わりやすいものといわれますが、また同時にこれほど強固なものもないのです。その強い心のつながりをベースにしてきた経営、ここに京セラの原点があります。



創業者 稲盛 和夫



代表取締役会長

山口 悟郎

代表取締役社長

谷本 秀夫

平素は京セラグループに対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

京セラは1959年の創業以来、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」という経営理念のもと、事業拡大に努めています。

京セラグループは新たな目標として掲げた「2029年3月期 売上高3兆円」の達成に向けて、今般、2024年3月期から始まる3か年の中期経営計画を策定しました。事業の選択と集中および積極的な投資を進めるとともに、サステナブル経営や資本戦略の推進、ならびにコーポレート・ガバナンスの強化に取り組み、持続的な成長を図るための経営基盤の強化に努めていきます。

京セラグループが今後、どのように事業活動を通じて社会課題に取り組み、持続的に企業価値の向上と社会への貢献を果たしていくかということについてステークホルダーの皆様にお伝えするために、「統合報告書」を発行しています。

京セラグループが成長発展するうえでの基本となる考え方や取り組み、さらにはそれらが社会にもたらす多くの可能性を示すことで、皆様との価値共有を図り、一層の企業価値の向上を目指します。当報告書が京セラグループに対するご理解の一助となれば幸いです。

編集方針

参考ガイドラインなど

IFRS財団から公表されている「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイドンス」を参照しており、ESG情報については「GRI[®]スタンダード」を参照した開示を行っています。また、「サステナビリティ会計基準審議会(SASB:Sustainability Accounting Standards Board)」による「サステナビリティ会計基準(Sustainability Accounting Standard)」にもとづき、京セラグループにとって重要なサステナビリティ情報の開示を進めています。

※ グローバル・レポート・イニシアティブ



対象範囲など

対象期間

2022年4月1日～2023年3月31日
(ただし、過去または直近のデータや活動内容を報告することが適当である場合は、当該期間以外のものを掲載しています。)

対象組織

京セラグループ
(対象組織が異なる箇所については、明示しています。)

会社名の表記

当報告書における会社名の表記は以下のとおりです。
京セラ、当社:京セラ株式会社
京セラグループ、当社グループ、全社:
京セラ株式会社および連結子会社
グループ会社:連結子会社

見通しに関する注意事項

当報告書に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知および未知のリスク、不確実な要因およびその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因およびその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開または財政状態は、将来の見通しに明示または暗示される将来の業績、事業活動、展開または財政状態と大きく異なる場合があります。当社は当報告書に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

表示形式

- 当報告書の金額および比率(%)は表示単位未満を四捨五入しています。また、各比率は、百万円単位で比較した比率を記載しています。
- 国際会計基準(IFRS)を適用しています。なお、詳細情報は、ウェブサイトの「投資家情報」「サステナビリティ」にて公開しています。

第三者保証

当報告書の信頼性を確保するため、を付けている指標について、LRQAリミテッドによる第三者保証を受けています。

情報開示体系

	年次報告		WEB
財務情報	有価証券報告書	決算資料	株主・投資家情報
非財務情報	統合報告書	コーポレート・ガバナンス報告書	サステナビリティ

Introduction

- 京セラの経営哲学／
統合報告書発行にあたってのご挨拶 P.1
- 編集方針／目次 P.2

京セラの価値創造

- 経営理念 P.3
- 経営思想 P.4
- 成長の軌跡 P.5
- トップメッセージ P.6-8
- 京セラグループの価値創造モデル P.9
- アメーバ経営による価値創造 P.10
- Special Issue P.11
- 重要課題(マテリアリティ)への取り組み P.12

経営戦略

- 中期経営計画 P.13
- At a Glance P.14
- コアコンポーネント P.15
- 電子部品 P.16
- ソリューション P.17
- 研究開発の推進 P.18
- 新規事業の創出 P.19
- 事業を通じて解決する社会課題 P.20-21

経営基盤

- コーポレート P.22
- 資本戦略 P.23
- 人的資本の充実—京セラグループの人的資本 ... P.24
- 人的資本の充実
—ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ... P.25
- 人権の尊重 P.26
- ステークホルダーエンゲージメントの向上 P.27
- カーボンニュートラルへ向けた取り組み P.28-29
- サーキュラーエコノミー構築への貢献／
生物多様性 P.30
- デジタル化と新たな企業風土の醸成 P.31
- 知的財産戦略 P.32
- リスクマネジメント・
事業継続計画(BCP)の取り組み P.33
- コンプライアンス／サプライチェーン管理 P.34

コーポレート・ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス P.35-38
- 役員一覧 P.39-40
- 社外取締役・社外監査役メッセージ P.41

財務・会社情報

- 財務ハイライト・非財務ハイライト P.42
- 財務11期サマリー P.43
- 連結財務諸表 P.44-46
- SASB Index P.47
- 会社情報および株式の状況 P.48